

私たちにできること

災害から家族、子どもたちを守ろう



豪雨により冠水した道路(令和元年10月13日 郡山市赤木町・若葉町付近) 水が引いた後に残された大量の災害廃棄物(令和元年10月14日 本宮市本宮)

各地で記録的な豪雨となり、多数の犠牲者が亡くなりました。台風と2週間後の大雪で、本県では河川の氾濫などにより32人の尊い命が失われ、避難者数は最大で約2万6千人にも及びました。

災害はいつ起きるかわかりません。家族や子ども、自分自身の命を守るために、いざという時に速やかな行動がとれるよう日頃の備えを万全にしましょう。



防災士からの防災アドバイス

災害が発生しそうなときに、まだ避難しない方が多くみられます。家族と一緒に避難し、まずは「命を守る。より安全な所に避難して、安心できるようにする。」のために、日頃から家族みんなで避難について考えてみましょう。

初めて、非常持出品の準備はできていますか。自分の貴重品(お金や大切なものなど)、水や食料、簡単な着替え、懐中電灯、ラジオなどをすぐに持ち出せるようにしておくことが必要です。

そして、自分の家の近くに地震のときや大雨のときには、ハザードマップや自分で自宅の周辺を歩いてみて確認してください。

次に、避難所はどこにあるか、そしてその避難所までの通り道に、危険な所を通らずにたどり着けるか、災害が起こる前に知っておくことが必要です。

そして、ニュースなどで台風が近づいているときや川が増水していることを知ったときは、慌てて外に飛び出したりしないように落ち着いて避難します。そのときは、家族と一緒に避難するようにみんなで声を掛けます。隣近所にも声を掛けましょう。

特定非営利活動法人福島県防災士会
(日本防災士会福島県支部)
理事長 滝田 吉宏さん



台風防災の心得10箇条

心得① 避難の情報を正しく受け取ろう

今年5月から、5段階の警戒レベルで市町村などから発表される避難情報の内容が新しくなりました。

警戒レベルは、災害発生の危険が高まるほど数字が大きくなります。市町村や県から発信される情報をしっかりと理解して、災害に備えましょう!

警戒レベル	新たな避難情報等	行動
5 災害発生または切迫	緊急安全確保	命の危険直ちに安全確保!
4 災害のおそれ高い	避難指示	危険な場所から速やかに避難する
3 災害のおそれあり	高齢者等避難	避難に時間を要する人は危険な場所から避難する
2 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)	ハザードマップなどで自分の避難行動を確認する
1 今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報(気象庁)	災害への心構えを高める

心得② 天気予報について勉強しておこう

雨の降り方や風の強さなど天気予報の情報は風水への備えとして、いざという時の避難行動に大変役立ちます。気象の用語や各地域の大気・洪水警報の発令基準などを知っておきましょう。

大雨や地震、津波などにより重大な災害のおそれがある時に警報が発表されます。この警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波などが予想され、重大な災害の危険性が高まっている場合に特別警報が発表されます。もし、発表されたら、身を守るために行動をとるようにすぐに動きましょう。

心得③ 災害が発生した時の行動を想定しておこう

実際に災害が起きたときパニックになり、どうしたらよいのかわからなくなってしまうかもしれません。いざという時に備えて、「いつ・どんなとき・何をするか」をあらかじめ想定した防災行動計画を立てておきましょう。

心得④ 住んでいる地域のハザードマップを確認しよう

ハザードマップは大雨などによる浸水や土砂災害などの危険性が高い地域をわかりやすく色分けした地図です。自分が住んでいる家や地域、避難所までの経路などに危険はないか、必ず確認しておきましょう!

県内各市町村のハザードマップが確認できる福島県の「ふくしまぼうさいウェブ」

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/bousai/>

心得⑤ 避難場所をあらかじめ知っておこう

各市町村で、災害などの発生により避難が必要になった場合を想定し、公共施設を中心とした避難場所を指定しています。ハザードマップで近くの避難所をチェックしておきましょう。

心得⑥ 家族で防災について話し合おう

どんな時でもあわてないよう、家族で話しあっておくことが大切です。年に一度は家族で防災会議を開きましょう。

家族で話しあうことの例

- 一人一人の役割分担
- 家の内外の危険な場所の確認
- 家具の安全な置き場所、転倒防止策
- 非常用持ち出し品の準備
- 避難場所の確認
- 家族との連絡方法の確認

心得⑦ コロナ禍での避難について知っておこう

もし、新型コロナウイルスの感染拡大中に災害が起きたら…避難所は3密(密閉・密集・密接)になりやすく、ウイルスの感染リスクが高まりやすい環境にあります。安全な地域にいる親戚や友人の家への避難や、旅館・ホテル、安全な場所での車中避難など「分散避難」も検討しましょう。

避難所ではマスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保、手洗い・消毒、窓の開放などの定期的な換気、など感染症対策を徹底しましょう。

心得⑧ 避難時に必要な準備品を用意しておこう

非常用持出品

(避難するときにまず持ち出すもの。リュックに入れて、持ち出しやすい場所に置いておきましょう)

非常食・水・メガネ、携帯電話の充電器、懐中電灯、マスク・消毒液、体温計、タオル、救急用品、雨具、衣類、貴重品類、健康保険証、ティッシュ、ビニール袋など

非常用備蓄品

(災害から復旧するまでの数日間に必要なもの)

食料・水(1人あたり1日3リットル)、毛布、洗面用具、簡易食器、工具類、衣類、卓上コンロ・ガスボンベ、簡易トイレ・トイレットペーパー、生理用品、ブルーシート・新聞紙など、使い捨てカイロ、乳幼児用品、発電機など

心得⑨ 災害や避難時の情報入手方法を確認しておこう

各市町村からの災害情報は県や市町村からの情報のほか、テレビや新聞、ラジオ、インターネットなどのメディアを活用して入手しましょう。

心得⑩ 「マイ避難シート」を作って備えよう

「マイ避難シート」はそれぞれの家族構成や自宅や職場のある地域の洪水リスクに合わせた避難行動を事前に考え、家族で共有する避難計画です。安全な避難のために、家庭で話しあって作ってみましょう。

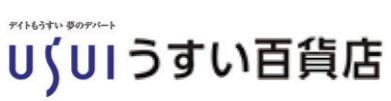
福島県のウェブサイト
「つくろう!ふくしまマイ避難シート」でマイ避難シートを実際に作ってみよう
<https://fukushima-myhinan.jp/>



資料提供:郡山市防災危機管理課



<http://www.c-daiwa.co.jp>
株式会社 クリエイティブダイワ



[株式会社クリエイト](#)
Toward The Future - Create-ins.co.

私たちが地域の安心安全を守る活動を応援しています



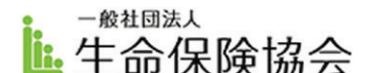
[https://zenoaq.com](#)

ZENOAQ
Gazing at the future

公益財団法人
星総合病院

帝京安積高等学校

美和電気工業株式会社



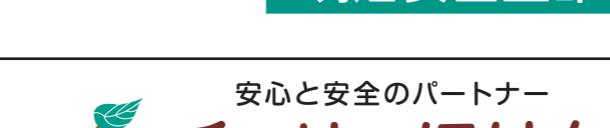
[https://tac-hoken.co.jp](#)

TAC CORPORATION

安全と安心は「備える心」が大事。

有限会社タックコーポレーション

<https://tac-hoken.co.jp>



有限会社 チェリー一火商会 郡山市神明町8-9

お問い合わせ TEL 024-922-7770



代表取締役社長 前田 泰彦

TEL 024-959-1800

<http://www.fukushima.alsok.co.jp>



次代とともに。ケンオリは前へ。

with Ken Ori

代表取締役社長 藤井 明仁 <https://kenori.com/>

[本社] 〒963-0724 郡山市田村町上行合字北川田26-3

TEL (024)944-8400 FAX (024)944-9980

福島支社 口いわき営業所 口津若松営業所 口仙台営業所

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

土木設計・インフラメンテナンス・測量・地質調査

代表取締役 大島 高昭

〒963-8034 福島県郡山市島一丁目22番30号

TEL 024-953-6830 FAX 024-953-6831

安全技術の研鑽に励み、人々の生活を守る設計を行います。

デザインで未来をつくる。

active PLANNING <https://www.actnp.com>

株式会社 アクティブプランニング

〒963-8052 郡山市八山田3丁目114

TEL.024-926-5134 FAX.024-926-5117



支店長 伊藤 謙二

郡山支店 / 郡山市虎丸町21-10 EME郡山ビル3F

福島営業所 / 福島市栄町1-31 エヌ・エフ・シー第2ビル2F

いわき営業所 / いわき市鷹島町鷹田後口8-6

会津営業所 / 会津若松市天寧寺町6-7

白河営業所 / 白河市高山77 新白河高山テナントC号室

TEL (024) 85-7311 FAX (024) 85-7311

TEL (024) 85-7311 FAX (024) 85-7311</